

た か し



～ 自分らしく輝き 互いを認め合う 運動会 ～

主幹教諭 山口 悠介

残暑の厳しさが和らぎ、朝夕には秋の気配が感じられるようになりました。保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ子どもたちが心待ちにしている運動会が近付いてまいりました。元気な掛け声が響き、本番に向けて一生懸命練習に演技に取り組む時期となりました。汗を流しながら競技や演技の完成を目指す姿、友達と声を掛け合いながら力を合わせる姿が今から待ち遠しいです。

運動会は、勝敗や順位だけを競う行事ではありません。目標に向かって努力することの大切さや、友達と協力することの喜び、そして最後まであきらめずに挑戦する心を育む大切な教育活動です。練習の過程では、思うように結果が出なかったり、自分の課題に向き合わなければならなかったりすることもあります。しかし、そのような経験を積み重ねながら、一步ずつ前に進もうとする姿にこそ、大きな価値があります。成功体験はもちろんのこと、悔しさや失敗もまた、子どもたちを成長させる大切な糧となります。子どもたちを見ていると、自分自身が子どもだった頃の運動会を思い出します。本番で緊張したこと、仲間と勝利を喜んだこと、みんなの応援でいつも以上の力が発揮できたことなど、今でも鮮明に記憶に残っています。それは、運動会が単なる学校行事ではなく、自分自身の成長を実感できる貴重な機会だったからだと思います。だからこそ、子どもたちにも結果だけではなく、その日を迎えるまでの努力や友達との関わりを大切にしてほしいと願っています。

また、運動会では競技や演技だけではなく、応援や係活動など、一人一人が重要な役割を担っています。友達を励ます声、協力して準備や後片付けに取り組む姿、友達の活躍に惜しめない拍手を送る姿は、まさに学校全体が一つになる瞬間です。それぞれの子どもが自分らしく輝き、互いを認め合う姿は、運動会の大きな魅力であり、高四小が目指す姿でもあります。

当日は、練習の成果を存分に発揮しようとする子どもたちの真剣な表情や笑顔があふれる一日にしたいと思います。そのためには保護者の皆様の温かい拍手や声援が、子どもたちにとって大きな励みとなります。是非、一人一人の頑張りや成長に目を向けていただければ幸いです。

子どもたちにとって心に残る運動会となるよう、教職員一同、力を合わせて準備を進めてまいります。当日は、全力で挑戦する子どもたちの姿に温かいご声援をお願いいたします。運動会を通して得た経験が、これからの学校生活や人生を支える大きな力になることを願っています。

【お知らせ】

★8月9日、学校で飼育してきましたうさぎの「ココア」が、老衰のため死去しました。長きにわたり、多くの方々にかわいがっていただき、ありがとうございました。